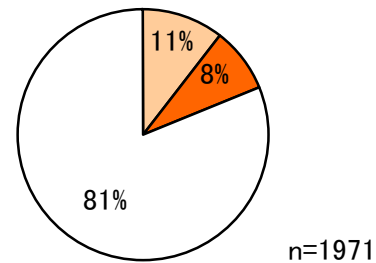


中小企業金融円滑化法に関するアンケート調査 実施結果（概要）

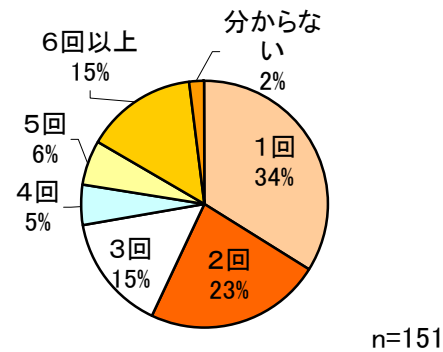
平成24年10月22日～11月7日実施 回答数 3,078社

1. 借入条件変更の状況（借入のある企業（全体の69.3%）中）

(1) 条件変更の有無

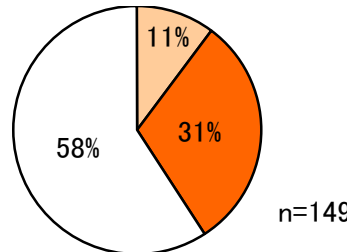


(2) 条件変更の回数



- 約1割の企業が条件変更（リスク）を実施中
- その3分の2は、複数回にわたりリスクを実行

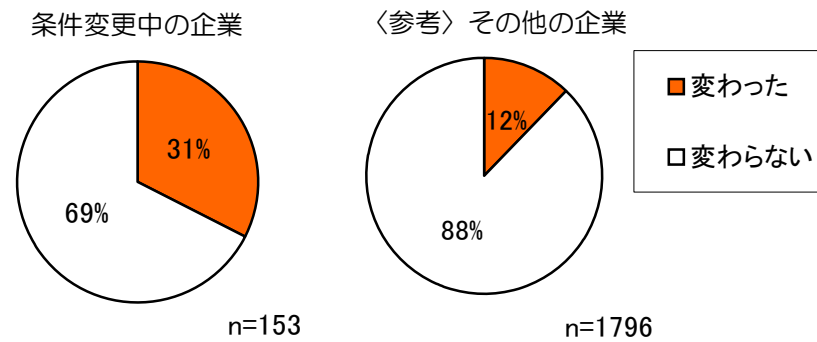
(3) 条件変更後の新規融資について



- 約3割の企業は、リスク後の新規融資を受けられず

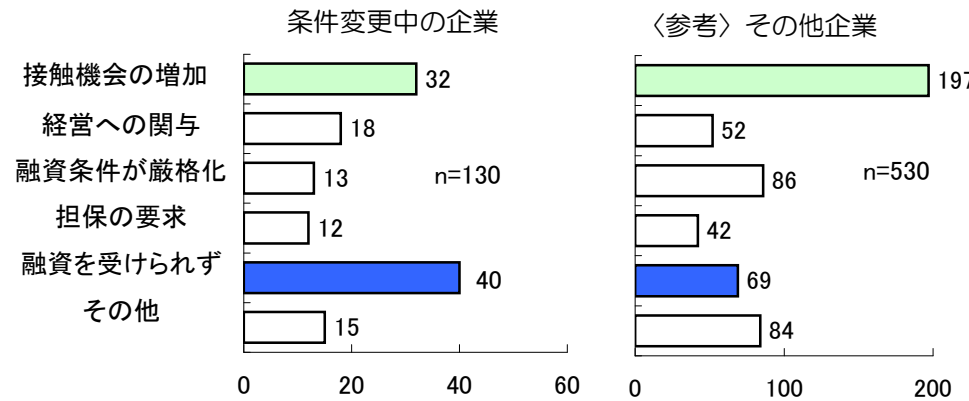
3. 法の最終延長決定後の金融機関の状況

(1) 金融機関の姿勢の変化



- 金融機関の姿勢に変化があったとした企業はリスク中企業の約3割
- 一方で、リスクを行っていない企業でも約1割が変化ありと回答

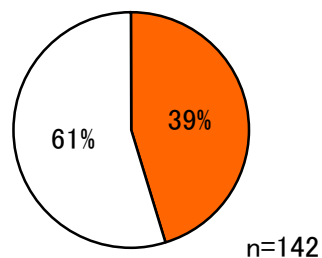
(2) 姿勢変化の具体的内容（複数回答）



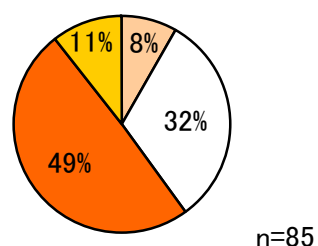
- リスクの有無に関わらず、「金融機関との接触が増えた」とする企業が多い。
- リスク中の企業では、「融資を受けられなくなった」とする企業も多い。

2. 経営改善計画の状況

(1) 計画の策定状況



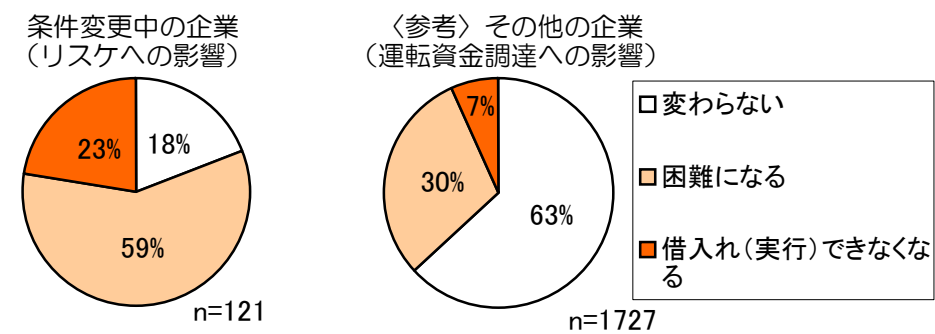
(2) 計画の進捗状況



- リスク中企業の約4割が経営改善計画を未策定
- 約5割の企業が計画を下回る厳しい状況

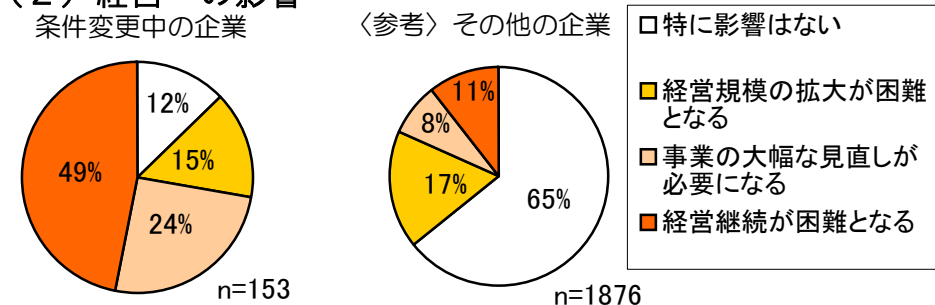
4. 今後の影響

(1) 資金調達への影響



- リスク中の企業の約8割が法終了後の条件変更は困難と予想
- リスク中ではない企業でも、約4割は、資金調達に影響があると予想

(2) 経営への影響



- リスク中の企業の約5割が経営の継続に懸念
- リスク中ではない企業でも、約4割は、経営に影響ありと予想